

## 土岐市との陶磁器試験研究機関共同化の検討結果について

### 1. 2市の現状

- (1) 2市の試験研究機関の所掌事務…別紙1のとおり
- (2) 組織・事業費等…別紙1のとおり
- (3) 手数料及び依頼件数比較…別紙2のとおり
- (4) 陶磁器産業の現状

本市の窯業土石製品製造業の出荷額等は、平成26年工業統計の数字によると133億7千万円（ピーク時（H3）の4分の1）であり、産業全体に占める割合も大きく低下している（45%から25%に）。

土岐市の窯業土石製品製造業の出荷額等は、平成26年工業統計の数字によると579億2千万円。

### 2. 検討の方向性

2市を含む東濃3市は、陶磁器産業を共通の地場産業としており、地場産業振興に関する様々な事業を既に共同で実施している（原料枯渇問題への対応、陶磁器フェスティバル、見本市出展支援、地場産業PR事業等）。2市の試験研究機関は比較的業務内容が類似しており、共同化により、スケールメリットを活かした試験研究などの事業の深化、経費の削減などが可能と考えられる。また、公共施設等総合管理計画及び第5次行政改革大綱においても「広域連携の推進」を進めることとされている。

メリット：

- ・ 2市の業務内容は重複しており、業務の効率化と経費の節減が図れる。
- ・ 職員配置の適正化が図られ、職員業務についても、多様化・高度化が期待できる。
- ・ 事業者にとって、各市でしかできなかった試験がワンストップで依頼でき、効率的となる。
- ・ 試験期間が実施する各種講座の参加者は、交流が広がるとともに、多様な講座の実施も期待できる。
- ・ 現行施設の転用など有効活用が期待できる。（瑞浪市）

デメリット：

- ・ 事業者にとって、位置の変更により利用が不便となるものもある。
- ・ 共同化の形態によっては、組織運営が複雑となり、事務量が増加する。
- ・ 「陶器の町みずなみ」のアイデンティティに影響する可能性がある。（瑞浪市）

### 3. 検討の経緯

5 月 16 日から非公式の研究会を設置し共同で検討を行った。(研究会開催 4 回)

#### (1) 業務調査

2 市の業務及び施設・機器を調査した。

#### (2) 事業すり合せ

業務調査に基づき、事務事業のすり合わせを行った。

#### (3) 共同化の形式を検討

共同化の法形態に関して、本市は協議会方式(自治法 252 条の 2 の 2)を提案した。

本市の提案は、2 市で土岐陶磁器試験場内に協議会を設置し、2 市からの職員を派遣して事業を実施、共同化のスケールメリットによる経常経費削減を 1100 万円と積算し、その果実を協議会に対する負担金で調整するものであった。法的には、2 市には研究機関がそのまま執行機関として残り、職員の身分もそのままとなる。

土岐市の提案は、試験場の能力に余力があるため、本市のすべての試験・試作委託事務を土岐市への委託(同法 252 条の 14)とし、委託費を支払うこと、また職員の受け入れはないという提案であった。

この研究会開催と並行し、5 月 8 日開催の窯業技術研究所運営委員会において共同化の検討を行っていく旨の報告をした。また、研究所共同化に係る関係者の意見を聴く会を 6 月 25 日、10 月 23 日に開催した。

### 4. 検討結果

土岐市からの提案は、本市の窯業技術研究所を単に廃止するものであるため、業界からの理解が得難いこと、また当初目的としたスケールメリットによる業務の高度化が果たせないこと、職員の身分が担保されないこと等の理由から受け入れがたいものであり、調整ができないことから 2 市の研究機関の共同化は見送るものとする。

別紙1

(1) 2市の試験研究機関の所掌事務（設置管理条例による）

瑞浪市窯業技術研究所	土岐市立陶磁器試験場	備 考
原材料、製品の試験、 分析	同様	
新分野の研究開発		炭素繊維など新素材の開発を行っている。
デザイン調査研究試作	同様	
技術者の育成	同様	
施設の開放	同様	
公害防止研究	同様	
講座講演会展示会の開催	同様	
	美濃焼文化の継承	一般的な事項であれば、本市も類することは行っている。
	内外芸術家との交流	イタリア・ファエンツァ陶芸家等との交流
	焼き物の体験学習	小学校児童への作陶指導など

(2) 組織・事業費等

瑞浪市窯業技術研究所	土岐市立陶磁器試験場	備 考
職員3名+嘱託職員2名	職員11名+嘱託職員1名	所長は平成30年度で退職（瑞）
研究所費（29年度決算） 歳出：32,680千円 歳入：3,127千円 内訳：設備使用料 112 試験依頼手数料 1,187 試作依頼手数料 1,828	試験場費（29年度決算） 歳出：120,000千円程度 歳入：16,533千円 内訳：使用料 802 手数料：15,731	
受託業務（29年度） 試験 1070件 （内土岐市230件） 試作 232件 （内土岐市73件）	受託業務（29年度） 試験 4512件 （内瑞浪市187件） 試作 1138件 （内瑞浪市5件）	

別紙2

(3) 手数料及び依頼件数比較(29年度)

試験項目	瑞浪市窯業技術研究所		土岐市立陶磁器試験場	
	手数料 (円) 下段：市外	依頼件数 (点) 下段は土岐市 依頼者 (内訳)	手数料 (円) 下段：市外	依頼件数 (点) 下段は瑞浪市 依頼者 (内訳)
粒度分析	1600	163	3000	84
	2400	1	4500	10
鉛・カドミウム溶出試験	500	378	500	2025
	750	19	1400	0
曲げ強度試験	600	0	5000	33
	900	0	7500	9
衝撃強度試験	1000	204	-	-
	1500	177	-	-
比重試験	800	0	2200	19
	1200	0	3300	3
水分測定	800	0	800	0
	1200	0	1200	0
オートクレーブ試験	1500	0	2700	0
	2250	0	4000	0
スポーリング試験	1000	285	1200	783
	1500	32	2700	7
熱膨張試験 (1000℃まで)	1200	38	-	-
	1800	1	-	-
熱膨張試験 (1300℃まで)	2000	0	3000	134
	3000	0	4500	7
収縮率試験	700	0	-	-
	1050	0	-	-
吸水率試験	800	2	2200	25
	1200	0	3300	0
坏土調合試験	1000	0	-	-
	~2000	0	-	-
	1500 ~3000	0	-	-

耐火度試験	-	-	7500	19
	-	-	11200	0
X 線解析分析	-	-	2500	156
	-	-	3700	36
篩分析	-	-	3000	1
	-	-	4500	0
顕微鏡撮影	-	-	200	5
	-	-	300	1
ダイヤモンドカッター切断	-	-	500	151
	-	-	700	0
定性分析	-	-	3500	715
	-	-	5200	64
定量分析	-	-	5700	357
	-	-	8500	49
EPMA 分析	-	-	10000	4
	-	-	15000	1
電子顕微鏡撮影	-	-	3500	0
	-	-	5200	0
上絵、下絵製作	500 ~10000	24	3000/時間 ~54000 円	142
	750 ~15000	0		1
意匠試作	500 ~20000	0	4500/時間 ~81000 円	572
	750 ~30000	0		1
模型、原型試作	500 ~20000	22	4500/時間 ~81000 円	168
	750 ~30000	2		0
CAD・CAM試作	1000 ~100000	186	4500/時間 ~81000 円	256
	1500 ~150000	71		3